

冬春期出しをめざした低温性花き類の栽培技術

福島県農業総合センター 作物園芸部

1 部門名

花き - その他の1・2年草 - 栽植様式・栽植密度

2 担当者

宗方宏之・鈴木安和・矢島典子

3 要旨

無加温栽培条件下で冬春期(11～5月)出荷が可能な3品目について、播種時期・栽植密度及び仕立て法を検討した。

- (1) ギリア・カピタータは、9月播種で1月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間が15cmの摘心栽培が適していた。
- (2) セントウレア・シアヌスは、9月播種で12月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間15cmの摘心栽培が適していた。
- (3) カンパニュラ・メジュームは、9月播種で2月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間が15cmの無摘心栽培が適していた。
- (4) いずれの栽培においても22:00～2:00の間、100V 75Wの白熱電球(2m間隔で設置)で長日処理をする必要がある。

表1 上位等級品¹⁾の時期別採花本数(ギリア・カピタータ)

栽植密度 (cm) 期	播種 期	摘心	採花本数(本/m ²)					切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 ²⁾
			1月	2月	3月	4月	計			
10×10	9	無	90	180		10	280	66.0	24.9	
15×15	9	無	18	58	18		93	62.3	20.3	x
15×15	月	有	120	80			200	87.9	35.7	

¹⁾総採花本数のうち、切り花長60cm以上、切り花重30g以上のもの。

²⁾切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図1 ギリア・カピタータ

表2 上位等級品¹⁾の時期別採花本数(セントウレア・シアヌス)

栽植密度 (cm) 期	播種 期	摘心	採花本数(本/m ²)					切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 ²⁾
			12月	1月	2月	3月	4月			
15×15	1	1	111	120	9	13	18	271	106.2	34.5
15×15	2	2	31	40	4		13	89	87.3	17.4
20×40	0	0	8	1	1	5	1	16	83.4	19.0
20×40	月	1	15	1	1			18	89.4	29.6
20×40	2	2	11	1		4	1	18	85.3	19.0

¹⁾総採花本数のうち、切り花長80cm以上、切り花重30g以上のもの。

²⁾切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図2 セントウレア・シアヌス

表3 上位等級品¹⁾の時期別採花本数(カンパニュラ・メジューム)

栽植密度 (cm) 期	播種 期	摘心	採花本数(本/m ²)					切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 ²⁾
			2月	3月	4月	計				
10×10	無	110			110	88.0	62.3			
15×15	2	無	80	4	36	120	74.5	67.1		
15×15	月	有		13		13	73.5	22.2	x	

¹⁾総採花本数のうち、切り花長70cm以上、切り花重50g以上のもの。

²⁾切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図3 カンパニュラ・メジューム

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度試験成績概要集(2010)